

輸出事業計画

※申請者名：ウェルファムフーズ鶏肉輸出コンソーシアム、品目：鶏肉

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- (1) 孵卵、飼育、処理、加工と鶏肉生産における一貫体制を構築しており、飼養に関わる全ての履歴をトレース可能であることや、飼養農場は九州管内であり、「九州産鶏肉」というブランドイメージを強みとして 香港向け輸出を開始。
- (2) 日本産の安心・安全の評価の高まりと輸出マーケット開拓の結果、需要が高まり、輸出量を伸ばしている。
- (3) 近年は、現地ニーズに対応したコンシューマー向け少量パックなどの製造も強化している。

【課題】

- (1) 生産者、食肉処理事業者、輸出事業者が一体となって輸出の事業拡大に取り組めていない。
- (2) 他輸出競合国産との差別化戦略
- (3) コンシューマーに対応するパッキング、施設の整備
- (4) 2021年 3 月にマカオ向け輸出食鳥処理場及び食肉処理施設の認定を取得したが、輸出はまだ開始しておらず、新規マーケットの開拓が必要。

2. 輸出事業計画の取組内容

【香港、マカオ共通】

生産者、食肉処理事業者、輸出事業者が抱える課題を共有して、迅速な改善に取り組むことで、輸出先国で求められる商品作りに対応し、現地ニーズを的確に捉えたスペックの商品設計を進めていく。

【香港】

現地販売会社との連携を深め、「九州産若どり」を中心に産地の強みや、安心・安全性を活かしたプロモーションを強化し、展開していく。

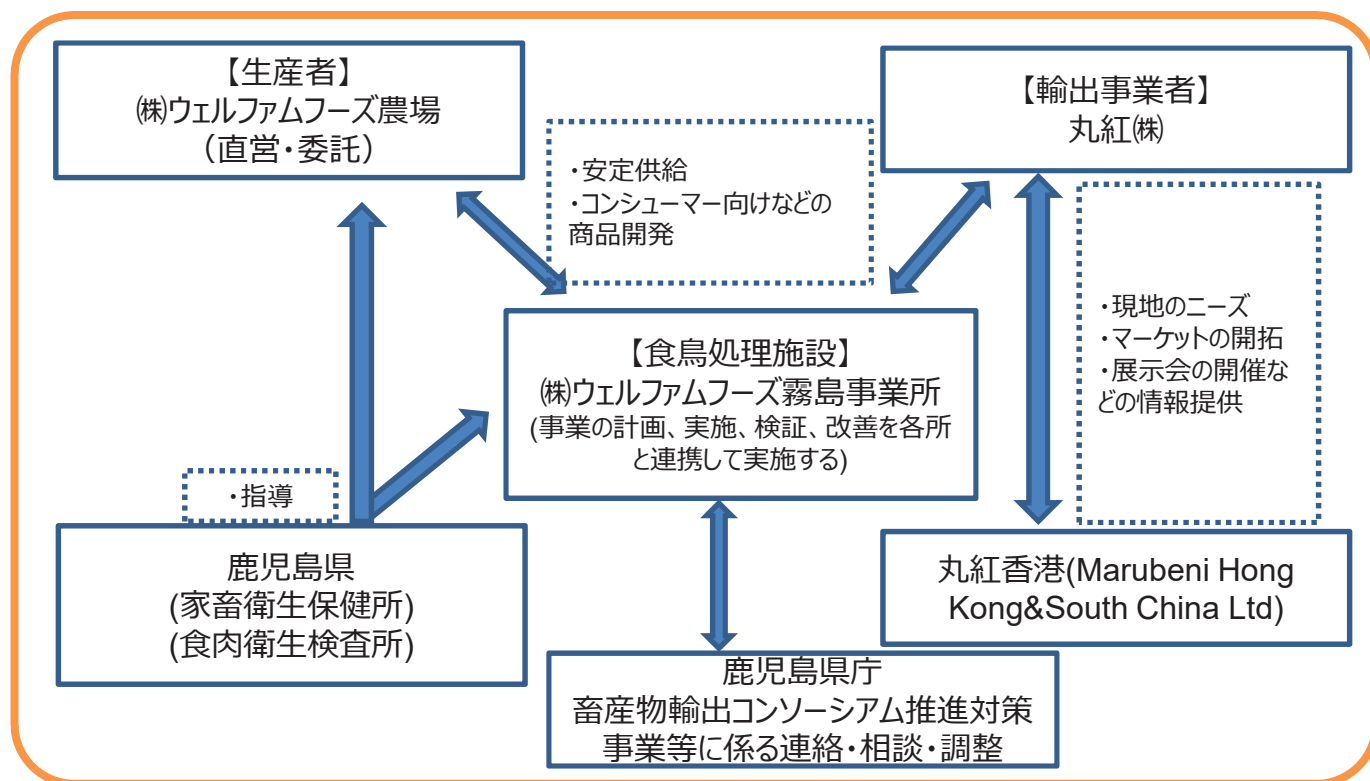
【マカオ】

現地ニーズを的確に捉えたスペック、商品設計を進めたい。

輸出事業計画

※申請者名：ウエルファムフーズ鶏肉輸出コンソーシアム、品目：鶏肉

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

輸出品目：鶏肉
輸出先国：香港
＜現状（令和2年実績）＞
金額 97,000,000円
重量 143 t



輸出品目：鶏肉
輸出先国：香港・マカオ
＜目標（令和5年）＞
金額 127,000,000円
重量 187 t